



鈴木 紗織さん(朝比奈原) 唯采ちゃん

「初めて子育て支援センターに行くときは緊張しました。2・3回通うと慣れてくると思います」と話す鈴木さん。

「ママ友」は、ありがたい存在

鈴木さんは、子育てをしていて子どもの成長を感じるとうれしくなるといいます。

「まだ上手に文字を書くことができない子どもが、私の誕生日に『おたんじょうびおめでとう』と書いた折り紙をくれたことがあるんです。このときは、うれしくて涙が出ました。反対に、家事や育児で忙しくて大変になるときもあります。そんなときは、普段より早く寝るようにしたり、家事を翌日に回したりすることもあります。子育てをしていると『こうしていいのかな』『ああすればよかったのかな』と悩むことが多々あります。そんなときに相談できるのが、子育て支援センターで出会ったママ友です。『子どもに明日食べさせる朝ご飯は何かいいか』『何時に食べさせたらいいか』など、どんなに細かいことでも相談できるので助かっています。私にとってありがたい存在です。

以前までは、子どもが泣いてしまう理由や考えている事が分からないことからイライラしてしまっていたので『これをしてあげると喜ぶ』とか『何を嫌がっているのか』を分かるようになりました。私自身のストレスもたまりづらくなってきたと感じています」とほほ笑みました。



▲北こども園内にある子育て支援センター「たけのこひろば」で「こんなこともできるよ」と仲良く鉄棒にぶら下がる児童

御前崎市での子育ては

このまちで子育てに励んでいるお母さんに

先輩ママ



もろい もも 桃子さん (白羽区)

「御前崎」の良さがある

私は県外出身で、夫の仕事の都合でこのまちにやってきました。初めは慣れない土地で生活することが大変でした。

1人目の子どもは、少し気を配りながら育てました。食べ物好き嫌いが多く、体重が思うように増えなかったんです。「原因は何だろう。うちの子だけなのかな」と悩んだこともありましたが、ママ友に相談すると「うちもそんなことがあったよ」と言ってくれたので、とても安心したことを覚えています。

このまちは、交通の便が良いとはいえないし、娯楽施設や大型の商業施設もなく子どもを連れて遊びに行けるところは少ないかもしれない。でも、海や山など自然が豊かで住んでいる人も親切な人が多いという良いところがあります。

御前崎は、子育てしやすいまちだと思えます。

このまちには、いろんなお母さんがいて、いろんな生活の形があります。また、豊かな自然や子育て家庭を支える助成金や手当てもあります。

私たちが市は、お母さんの子育てを応援しています。

支援センター職員



子育て支援センター「みさきっこ」よこやま ふみこ 横山 文子さん

安心して育児してほしい

子育て支援センターでは、経験豊富な職員が子育てや入園などの相談に応じています。また、支援センターはお母さん同士の交流の場にもなっています。

子育ては、楽しいことばかりではありません。むしろ大変なことの方が多くのように感じます。そんなときにママ友がいると、子育ての「ちょっとしたこと」を気軽に聞くことができるんです。とても大切な存在だと思えます。

支援センターには、アドバイザーできる職員や子育て仲間との出会いがあります。ぜひ遊びに来てください。